6. 洗浄と保管方法

測定後はプローブや酸素センサーに付着した汚れを洗浄してから保管してください。続けて次の測定を行う場合も、プローブや酸素センサーに汚れが付着している場合は洗浄してから測定を行ってください。

1. ビーカーやバケツなどの容器に水道水を用意し、プローブ部を水道水に浸けて軽く振りながら洗浄します。
2. 洗浄後は水分を拭き取り、酸素センサーをプローブに取り付けたまま保管します。

7. エラーメッセージの表示内容と処置方法

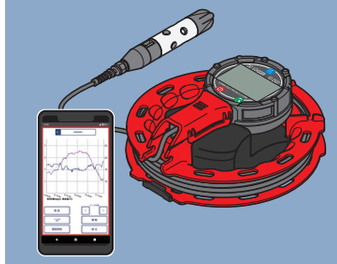
電源 ON 時や校正時にエラーメッセージが表示されたら、下記を参照して処置をしてください。
（下記以外のエラーメッセージは、製品付属の取扱説明書「エラーメッセージ」を参照して処置をしてください。）

症　状	確　認	処　置
センサー異常 以下の場合に表示します。 ・校正時、センサーの出力が不安定 ・周囲の温度変化が激しい ・酸素センサーの隔膜が破損している ・酸素センサーの電解液が少ない 	プローブが水中に入った状態で校正していませんか。	プローブを大気中に出した状態で、スパン校正してください。
	プローブの水温センサーに手が触れた状態で校正していませんか。	水温センサーにさわらないようにして、スパン校正してください。
	周辺温度の変化が激しい環境で校正していませんか。	空調などの影響を受けない温度変化の少ない室内でスパン校正してください。
	酸素センサー先端に水滴がついた状態でスパン校正していませんか。	先端の隔膜を傷つけないよう注意して水滴を拭き取り、スパン校正してください。
	酸素センサーとプローブの間に水が入っていませんか。	プローブから酸素センサーを取り外し、水分を除去し乾燥させてください。
	それでも解消しない場合は、酸素センサー隔膜の破損が考えられます。	膜液交換カートリッジ（別売）、もしくは酸素センサーを交換してください。
センサー保証期間 酸素センサーの保証期間の残り日数を知らせる表示です。 （残り30日になると表示されます） 	「保証期限お知らせ機能」による表示です。残り日数を確認してください。（保証期限は出荷日より1年となります。）	保証期限を過ぎると「センサー保証期限切れ」の表示が出るようになります。早めのセンサー交換準備をおすすめします。 **酸素センサー、消耗部品は、製品をご購入された販売店または弊社公式オンラインショップでもご注文が可能です。**
センサー寿命 酸素センサーが寿命になったときに表示します。 	酸素センサーの寿命です。	しばらくは測定可能ですが、酸素センサーの出力が低下しているため校正はできません。さらに劣化が進むと「センサー使用不可」となり測定もできなくなりますので、新品の酸素センサーを準備、交換してください。

酸素センサー（型式：WA-TL）は1年保証です。保証期限内でエラーメッセージが表示され、処置内容に従って対処しても症状が改善されない場合、酸素センサーの「故障代替品」を提供いたしますので、弊社までお問い合わせください。

IIJIMA 飯島電子工業株式会社
〒443-0011 愛知県蒲郡市豊岡町石田1-1
TEL：0120-67-2827　FAX：0120-69-6814　https://www.iijima-e.co.jp/

ID250TTS-0310



DOロガー
型式：ID-250T
簡易取扱説明書

<ご注意> 本書は簡易版のため、操作の詳細や注意事項などは、製品付属の取扱説明書をご参照ください。下記のQRコードのリンク先から、PDFでダウンロードも可能です。

<取扱・メンテナンス情報>
弊社webサイトに取扱方法やメンテナンス情報、動画などを掲載しています。

・専用アプリ「ID-250T Reader」を使用するための Android 端末を用意し、製品付属の取扱説明書を参照して事前にアプリをインストールしてください。
・動作環境や最新版のアップデート方法なども、取扱説明書をご確認ください。

1. 測定前の準備

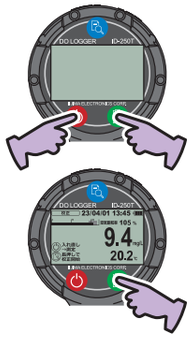
スパン校正

計器本体のみで操作できます。

・校正前に温度変化の少ない場所に30分以上置いておき、酸素センサーと水温センサーを十分に温度安定させてから校正してください。
・測定する際は、毎回測定開始前にスパン校正を実施してください。

1. 電源OFF の状態で、を押しながらを押します。
校正の際、プローブや酸素センサーに水滴がついている場合は拭き取ってください。

2. 校正画面で、（校正開始）を 1 秒以上長押しします。



3.「校正完了」が表示されたら、正常にスパン校正は完了です。
を押して電源OFF してください。
校正が完了せずにエラーメッセージが表示された場合は、本書4ページまたは製品に付属の取扱説明書「エラーメッセージ」を参照し、処置をしてください。

計器本体とアプリの接続

1. Android 端末でアイコンをタップし「ID-250T Reader」を起動します。



2. Android 端末と近距離に ID-250T 本体を用意し、を押して電源を ON にします。
接続されると、計器本体の画面右上に BT アイコンが表示されます。



Android 端末のアプリのメニュー画面の通信状態が「切断中」から「接続中」に変わり、機器名称のボックスが黒く反転表示します。



2. ロギング測定（監視なし）

アプリから測定間隔の設定

計器本体に設定した測定間隔で
最大 2000点のデータを記録します

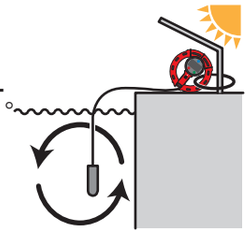
計器本体を電源 ON にし、Android 端末の近くに配置してください。



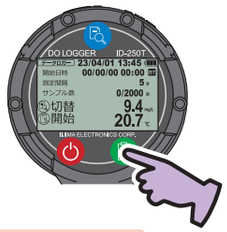
1. アプリメニュー画面から **機器設定** をタップします。
   『機器状態』が 待機中 表示のときに操作できます。
   ※計測中 表示の場合は、計器本体で DO測定を停止し 待機中 表示になってから操作してください。
2. 『**機器設定**』の **測定間隔** に任意の数値を入力し、単位を選択します。
   間隔を入力すると、最大 2000 点測定したときの測定期間が自動計算され表示されます。
3. **設 定** をタップします。
   「設定完了しました。」と表示され、設定した測定間隔を保存します。

測定の開始と終了

計器本体のみで測定できます。



1. 測定したい現場に計器本体を置き、プローブ部を測定槽内に投入します。
   プローブは一定流速のある環境に投入し、測定してください。
   【目安】プローブを 30cm 往復 / 秒の速さで上下に振ったときに得られる値と同程度の値が出る環境
2. 計器本体の測定待機画面で、（開始）を押します。
   設定した測定間隔と期間で、ロガー測定を開始します。
3. 測定を中断や停止するときは、（停止）を長押しします。
4. （履歴）を押すと、測定履歴画面に切り替わります。





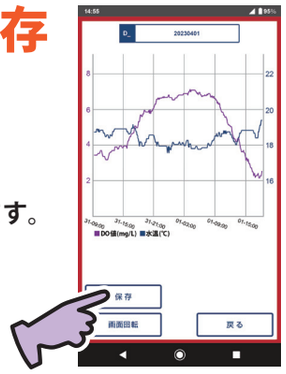
測定開始日時
サンプル数
測定間隔

履歴が 3 件を超えた場合は自動的に古いデータから
消去されます。アプリから保存操作を行ってください。

3. 測定データの保存

アプリからの履歴の読込と保存

計器本体を電源 ON にし、Android 端末の近くに配置してください。



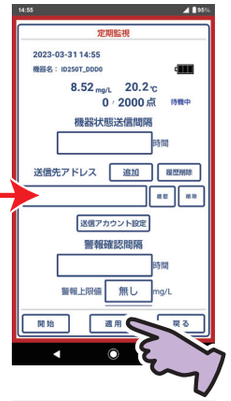
1. アプリメニュー画面から **機器から読込** をタップします。
2. 読込をしたい履歴データを 1 つタップし、**読 込** をタップします。
3. **保 存** をタップします。
   「CSV 出力しました。」と表示され、読込したデータがアプリに保存されます。

4. 定期監視（遠隔監視機能・上下限警報機能）

Android 端末から監視データを送信するための Gmail アドレスの設定と、Google アカウントからアプリパスワードの設定が必要です。製品付属の取扱説明書を参照し、設定を行ってください。

送信先メールアドレスの登録

計器本体を電源 ON にし、Android 端末の近くに配置してください。



1. アプリメニュー画面から **定期監視** をタップし、『**送信先アドレス**』の欄に、監視データを送信するメールアドレスを登録します。
2. **適 用** をタップしたら、設定は完了です。

送信間隔の設定（遠隔監視機能）

開始直後と、設定した送信間隔ごとに測定値がメール送信される機能です

計器本体を電源 ON にし、Android 端末の近くに配置してください。

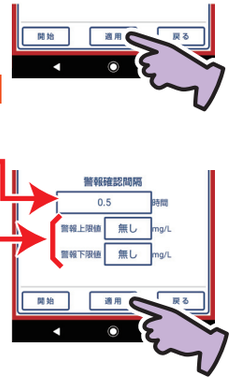


1. **機器状態送信間隔** の欄をタップし、送信間隔を入力します。
   単位は「時間」です。30 分間隔で送信したい場合、「0.5（時間）」と入力します。
2. **適 用** をタップしたら、設定は完了です。

上 / 下限値の設定（上下限警報機能）

開始直後と、設定した確認間隔で上 / 下限値を超えた場合にメール送信される機能です

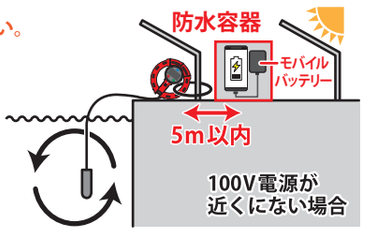
計器本体を電源 ON にし、Android 端末の近くに配置してください。



1. **警報確認間隔** の欄をタップし、測定値を取得する間隔を入力します。
   単位は「時間」です。30 分間隔で送信したい場合、「0.5（時間）」と入力します。
2. **警報上限値** と **警報下限値** の欄をタップし、DO 値を設定します。
   0.00 ～ 20.00mg/L の範囲で入力します。「設定値無し」を選択すると警報機能は無効となります。
3. **適 用** をタップしたら、設定は完了です。

監視の開始と終了

計器本体を電源 ON にし、Android 端末の近くに配置してください。



1. プローブ部を測定槽内に投入します。
2. 計器本体の を押し、アプリ上で **開 始** をタップします。
3. 計器本体の を長押しして停止し、アプリ上で **停 止** をタップして終了します。

5. トラブルシューティング

測定値が異常な場合や、「故障かな？」と考えられる場合は、製品に付属の取扱説明書の「トラブルシューティング」を参照し、確認･処置を行ってください。

右のQRコードより、弊社 web サイト上でもご参照いただけます。